

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、平成27年9月7日に総務文教分科会を開催しました。

認定第1号 平成26年度総社市一般会計歳入歳出決算認定

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で認定すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：PCBの廃棄物処理等委託料について、処理した量と現在の残量、また、今後の予定はどうか。

答：平成26年度は高圧のコンデンサ、蛍光灯安定器等を183kg処理した。現在は低濃度のトランスを6台保管している。業者とスケジュールを調整し、早めに処理したいと考えている。

問：全体的に不用額が多いが、どのように考えているのか。

答：全体的には、入札や見積り合わせ、また、プロポーザル方式を実施するなど経費を抑えたことによるものとする。

問：定住促進助成金の実績はどのようなものか。

答：助成対象地区は、昭和中学校区で、助成金は3種類あり、定住祝い金、生活環境整備助成金、新築又は購入助成金である。平成26年度は、定住祝い金を2世帯に、生活環境整備助成金を2件執行している。

問：中央保育所の指定管理について、委託料の在り方も含めどのように考えているのか。

答：平成26年度の決算ベースで経理の試算をしたところ、中央保育所は、単市の部分が約7,400万円程度掛かっている。一方、直営の公立保育所は約8,800万円程度で、指定管理の方が経費が安くなっている。また、職員については、公立の保育所は約半数が臨時保育士であるが、中央保育所は、ほぼ全員が正規の職員であり手厚い保育ができていると考えられる。さらに、民間の保育園を運営している法人が指定管理していることから、英語教育、鼓笛隊など特色ある保育活動ができていると聞いている。

問：学校一活交付金について、学校規模の大小があるが、実態はどうか。

答：学校一活交付金の配分状況は、小学校では人数の多い常盤小学校が約370万円、人数の少ない維新小学校が約96万円で、学級数割や、児童数割のみで計算すると極端な差が生じることから、均等割も含め配分している。